自分で社会科の学習を進めよう！

☆　知識の宝庫「教科書」を活用しよう！

・教科書を読むだけでも、とっても勉強になります。教科書を使って進んで学習しよう。
・教科書の左のページに書かれているテーマや課題を確認しよう。教科書の上の方の資料などをもとに、自分で考えた課題を設定してもいいね。（①）
・教科書の本文だけでなく、写真やグラフなど、すみずみまでよく読んで内容を深く理解しよう。（②）
・意味の分からない言葉や場所の分からない地名が出てきたら、辞典や地図帳、資料集で調べよう。辞典や地図帳に印をつけたり、ノートに分かったことを書きこんだりしよう。
・教科書を読んで分かったことをもとに、課題に対する答えをノートにまとめよう。（③）
・調べて分かったことを、「つまり…」「まとめると…」と説明できるように、ふり返りをしよう。調べても分からないことは、ノートにメモして、先生や友達にきいてみよう。（④）

① テーマや課題を読んで、どんな課題について調べていくか確認しよう。

③ 課題に対する答えだと思うものを、短い言葉でノートにまとめていこう。



（新しい社会　地理　東京書籍）

○月○日（○）
＜　課題　＞
※まとめ方は、授業で習った方法でもいいし、自分で工夫してもいいね。簡単な図やグラフ、地図をかくのもおすすめです。

② 写真やグラフからも特色を読み取ろう。

④ 学習のふり返りや先生に質問したいことなども書いておこう。

○ふり返り
（分からなかったこと　など）

☆　理解ができたら、「力（ちから）」をつけるトレーニングです

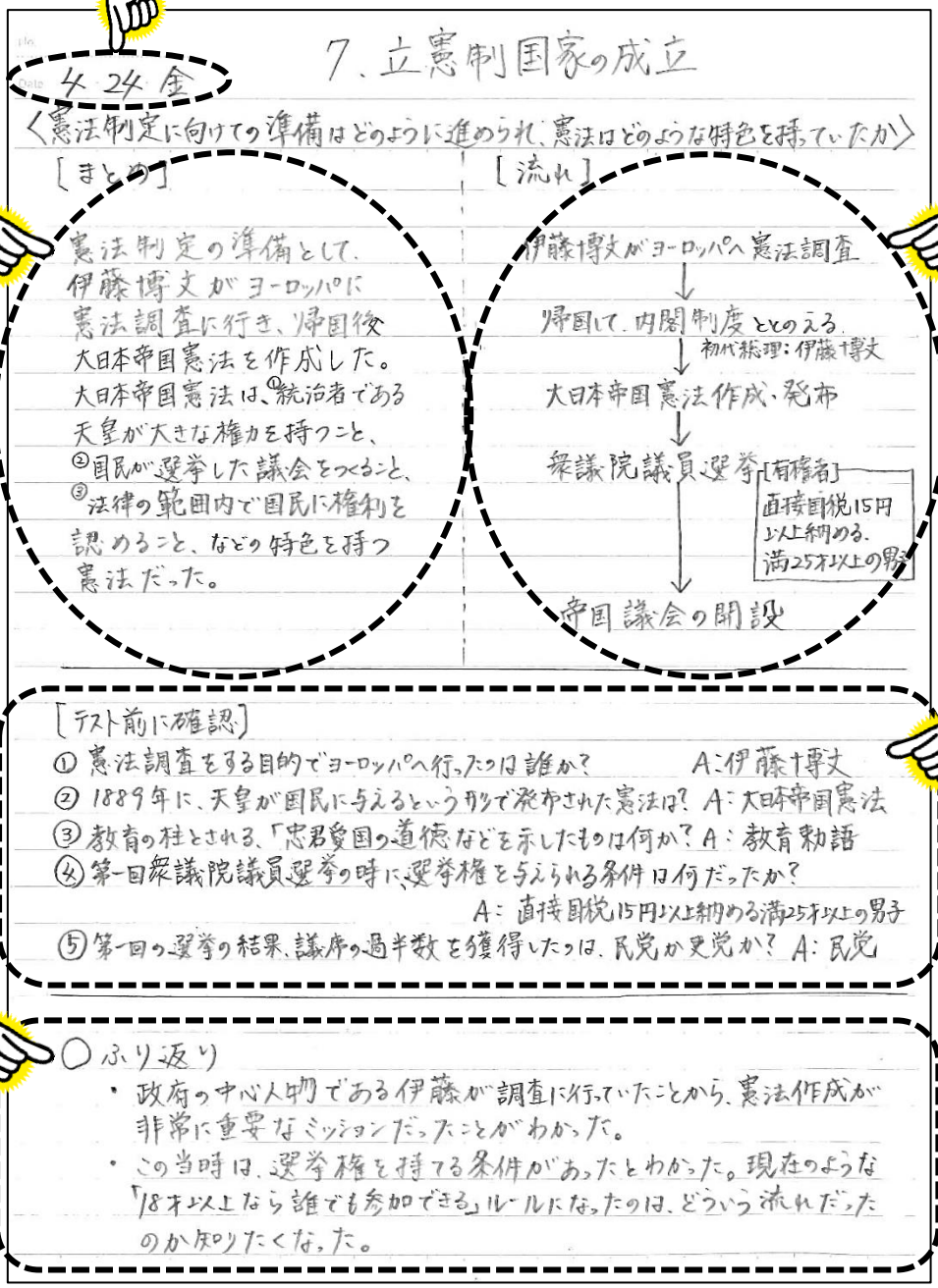


・さあ、本当に力がついているか、確かめましょう。
・宿題に出ていなくても、ドリルを進んでしよう。その内、テスト範囲（はんい）になります。
・丸つけをして、間違った問題の正しい答えを赤字で書いたり、書き直したりしよう。
・ここで終わりではありませんよね。本当に正しい知識を身につけたと言えるように、また同じ問題を間違えてくやしい思いをしないように、くり返し練習しよう！
・「またか」と思っている人もいるかもしれませんが、大切なことは、たいてい面倒（めんどう）なこと。教科書２ページとノート、ドリルの３点セットで 50 分間。自分に打ち勝ち、ねばり強く集中してやりきろう！



【ノートの作成例】

日付は毎回忘れずに書こう



文章は無理に一文にしなくて良い。一文ずつ簡潔に書くようにしよう。

出来事の流れの図、関係図、4コマ漫画、イラスト、等

語句調べ、語句練習、確認問題、資料集読み取り、等

分かったこと、わからなかったこと、もっと知りたいこと、等

☆　学習の参考に見てみよう！（宇ノ気中学校 HP にアクセス！）

